**◇３月２４日**

スピーカー：平山　賢一氏　東京海上アセットマネジメント(株)運用戦略部長ﾁｰﾌｽﾄﾗﾃｼﾞｽﾄ

　　　　　　　　　　　　　一橋大学大学院商学研究科　非常勤講師

テーマ　　：ヨーロッパ金融史について

会場他 ：あんさんぶる荻窪　　参加人数１７名　　＜夕刻6：30～8：30＞

内　容　　：１.ヨーロッパを含む政治経済の歴史は振り子のようにスイングして刻まれてきた（グ

ローバル化,フラット化,低ボラティリティ化〜ブロック化,階層分断,高ボラティリティ化）

２.ヨーロッパの金利の歴史　➢２０世紀の高成長は異常だった。

➢最低金利国のバトンタッチが意味するもの：主役の座を降りる日本

３.金利循環を左右する欧米の物価循環★数十年単位でインフレを繰り返してきた歴史➢ヨーロッパの投資家が意識してきた鉄則；物価変化を少しで良いから上回る姿勢

４.運用受難時代を迎えた世界の金融►資産運用が難しい時代に

５.金融市場は天の邪鬼；皆が嫌いな方に進む➢低金利が続き、物価上昇率に勝てない時代の始まり

６.現在の株式市場について。





